

「数学Ⅲ 教授資料」(数Ⅲ308) 訂正のお願い

常日頃は弊社書籍をお使いいただき、厚く御礼申し上げます。

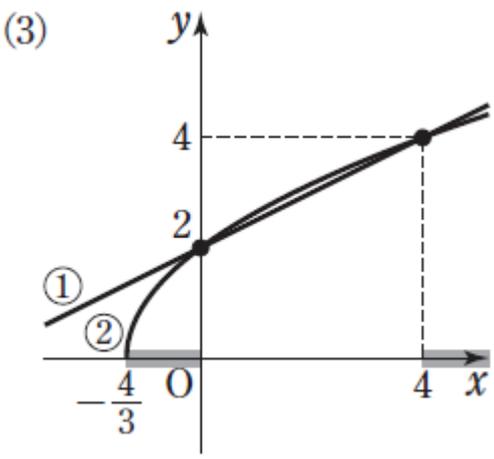
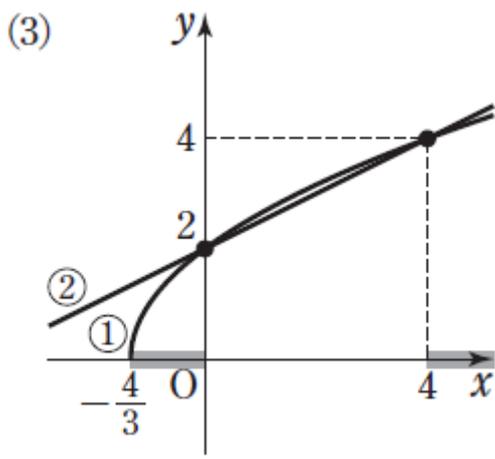
さて、大変恐縮に存じますが、本書に下記の誤りがございました。心よりお詫び申し上げますとともに訂正内容についてご報告させていただきます。

誠に恐れ入りますが、ご指導の際にはご留意を賜りますようお願い申し上げます。

不備を残しまして、ご迷惑をおかけいたしますこと、重ねてお詫び申し上げます。

(教授資料 本冊)

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
47	左段 下から 6行目	この両辺を $ \alpha $ で割ると	この両辺を $ \alpha ^2$ で割ると
56	左段 16行目	$(\sqrt{3} + \underline{1})^{12}$	$(\sqrt{3} + \underline{i})^{12}$
58	教科書 縮刷 p. 22 図		
64	右段 1行目	$\frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} = \frac{\overline{\gamma' - \alpha'}}{\overline{\beta' - \underline{\alpha}'}}$	$\frac{\gamma - \alpha}{\beta - \alpha} = \frac{\overline{\gamma' - \alpha'}}{\overline{\beta' - \underline{\alpha}'}}$

68	右段 6行目	$\angle AOB = \arg \frac{1-5i}{-3+2i} = \frac{3}{4}\pi$	$\angle AOB = \frac{3}{4}\pi$ (削除)
69	側注 12-13 行目	た、 $\alpha + \beta + \gamma$ はこの三角形の <u>垂心</u> を表し、 <u>垂心</u> と外心（原点）が一致する	た、 $\frac{\alpha + \beta + \gamma}{3}$ はこの三角形の <u>重心</u> を表し、 <u>重心</u> と外心（原点）が一致する
101	右段 5行目	<u>H</u> とgの距離	<u>R</u> とgの距離
141	右段 20行目	<u>極形式</u> に変換する。	<u>極方程式</u> に変換する。
163	右段 6行目 下の図	(3) 	(3)  (①, ②を入れ替え)
186	左段 21行目	極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^{\infty} a_k$	極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n a_k$ (Σ の上の ∞ を n に変更)
188	右段 5行目	その <u>和</u> は	その <u>極限值</u> は
200	左段 12行目	$ b_n \geq \beta - \varepsilon' > \frac{ \beta }{2}$	$ b_n > \beta - \varepsilon' > \frac{ \beta }{2}$
272	例題1 7行目	$f'(0) = \lim_{x \rightarrow 0} \frac{f(x) - f(0)}{x - 0} \quad \underline{\quad} \quad \lim_{x \rightarrow 0} \frac{f(x)}{x}$	$f'(0) = \lim_{x \rightarrow 0} \frac{f(x) - f(0)}{x - 0} = \lim_{x \rightarrow 0} \frac{f(x)}{x}$
274	左段 下から 6行目	$y' = -\frac{2 \cdot \frac{-1}{\cos^2 x}}{(1 + \tan x)^2}$	$y' = -\frac{2 \cdot \frac{1}{\cos^2 x}}{(1 + \tan x)^2}$ (右辺の分子にある「-1」の「-」を削除)
340	右段 2行目	原始関数は不定積分の1つとなる。	不定積分は原始関数となる。

367	左段 5-7 行目	円の面積の公式は小学校で既習であるが、ここで定積分を利用して、初めて証明されたことになる。	例題 10 の結果は、今後よく使われる。教の図を示し、四分円の面積($\pi a^2 \div 4$)であることを強調する。
-----	-----------------	---	--

※お持ちの刷では、上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。

訂正箇所		原文	訂正文
頁	行		
22	教科書 縮刷 p. 22 図		
114	下部の 朱字	極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^{\infty} a_k$	極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n a_k$ (Σの上の∞をnに変更)
214	上部の 朱字	原始関数は不定積分の1つとなる。	不定積分は原始関数となる。
233	上部の 朱字	円の面積の公式は小学校で既習であるが、ここで定積分を利用して、初めて証明されたことになる。	例題 10 の結果は、今後よく使われる。教の図を示し、四分円の面積 ($\pi a^2 \div 4$) であることを強調する。
巻末	左段 2 10行目	$\angle AOB = \arg \frac{1-5i}{-3+2i} = \frac{3}{4}\pi$	$\angle AOB = \frac{3}{4}\pi$ (削除)

※お持ちの刷では、上記の訂正内容が修正済みの場合がございます。